



—誠実・克己・創造・自他尊重—

令和7(2025)年3月3日

大成中だより

第9号



尼崎市立大成中学校 学校通信

<https://www.ama-net.ed.jp/school/J09/>

目標に立ち返り、次への一歩

3年生は卒業後の進路を決めるべく、奮闘しています。

現在、私学受験と公立2月受検とが終わり、次は公立3月受検に望みます。

「七転び八起き」、私はこの言葉が好きです。転んでも起き上がればよい。起き上がり再び前に一步進むことの大切さを教えてください。世界の発明王であるトーマス・エジソンは次の言葉を残しています。「I have not failed. I've just found 10,000 ways that won't work. (私は失敗したことはない。上手くいかない方法を1万通り見つけただけだ)」。このポジティブな発想には、感心するばかりです。

また、「七転び八起き」は、人生には浮き沈みがつきものであるということも示唆しています。今回は上手くいなくても、次回は上手くいくことがあります。良いことも悪いことも長くは続かなく、中長期で物事を捉えることの必要性を教えてください。いつか巡ってくる起き上がりのチャンスを待ち、その機会を確実に手に入れるべく、力を蓄え続けることが大切です。後で振り返ってみると、上手くいかなかった方へ進んでみたけど、結果的に良かったことも多くあります。その逆もあります。何が転びで何が起き上がりかが分からない、そんな面白さが人生にはあります。周囲の状況に一喜一憂することも大切ですが、常に自分の目標に立ち返り、次への一歩を進めるための準備や弛まぬ努力は続けたいものです。

進路が決まった人は、決まったことがゴールではなく始まりであり、自分の目標に向けて何が必要かを考え、準備に取り掛かりましょう。次のステップへの挑戦を続けている人は、焦ることなく一つずつ、今できることに集中して準備を進めましょう。3年生に限らず、1, 2年生の皆さんも同じです。理想とする将来の自分を想像し、何に取り組み何を学ぶのか、自分を高めるための具体的な目標を定め、準備を進めましょう。

そうは言っても、なかなか気持ちの切り替えが難しい時があります。そんな時は、「七転び八起き」や好きな偉人の言葉に触れてみる、好きな音楽や動画を楽しんでみる、散歩やスポーツで体を動かしてみるなど、自分の発想や視野を変えたり、心を休め潤えたりできる方法を色々と試してみましょ。私は誰かに話を聞いてもらいます。焦る必要はなく自分のペースで構いません。ゆっくりでよいので上手く気持ちを切り替え、目標への新たな一歩を踏み出したいものです。

年度の変わり目は心が揺れ動き、落ち着かない時期となります。多感な子どもたちを見守り支える上で、学校、家庭、地域の連携は重要です。今後とも子どもたちの健やかな成長に向けて、力を合わせていきましょう。

3月の主な予定

4日(火)1年 情報モラル講演会 7日(金)3年 給食最後
11日(火)卒業式予行 12日(水)公立3月入試 14日(金)卒業式
18日(火)1,2年 給食最後 19日(水)1年 球技大会 21日(金)2年 球技大会
24日(月)集会・授業・大掃除 25日(火)修了式・学活

4月の主な予定

7日(月)始業式、着任式、教科書配布 8日(火)離任式、学活、集会、入学式準備(弁当)
9日(水)入学式 10日(木)2,3年 給食開始(1年 給食開始は14日から)

1/31 百人一首大会(2年)



楽しみながら古典に親しむ。いろんな学びが詰まっている。

静寂の中、真剣な面持ちで勝負する姿は見応えがあり、実力差を考えたグループ分けなどの工夫もあり、白熱した戦いが繰り広げられていました。

百人一首は集中力や記憶力、瞬発力などが鍛えられます。また、様々な古典的表現を習得でき、古典の学習にも活きます。

公平なルールの中での真剣勝負は、他者との駆け引きもあり、コミュニケーション力の向上も図れ、楽しみながら交流できるので友達との絆も深まります。



急遽、札を詠むことになり、ぶっつけ本番にかなり緊張しました。でも、皆さんの温かい拍手に迎えられ、仲間に入れてもらい、とても嬉しかったです。

2/6 市長来校(中学校給食献立コンクール市長賞の試食)

自分たちで考えた献立が給食になる。学びの意欲は高まる。

松本市長が来校され、市長賞を受賞した生徒がいる3年1組の教室にて、給食と一緒に食べました。自分たちで考えた献立が給食になります。

学びが日常生活とつながることは学びの有用性を実感でき、生徒の学ぶ意欲の向上につながります。今回は市長の来校もあり、よりその意味合いも大きかったと思います。



また、市長に個人的なことから市政に関わることまで質問することができ、尼崎市をよりよいものにしていくことの大切さやその使命を自分たちも担っていることに気づくなど、地域に目を向けるよき機会にもなりました。

2/25 オンライン英会話(1年)

学んだ英語を駆使して、世界とつながる。

一人一人がタブレットを活用し、外国の方と英語を通して交流します。自己紹介からはじまり、いろんな質問に回答する対話の中で、学んできた英語を話します。緊張しながらも何とか言葉を返そうと必死に取り組む姿はとても素敵でした。学びをアウトプットすることで、より記憶に残ります。また、次はもっと話したいと英語を学ぶ有用感が高まり、学ぶ意欲の向上にもつながります。「将来は世界で活躍を!!」…そんな生徒が一人でも表れてくれたら嬉しいです。

